



Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定

この章では、Release 5.2.1 を設定する手順について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定について \(P.3-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定方法 \(P.3-4\)](#)
- [Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco MeetingPlace Web Conferencing とともに使用するための設定について \(P.3-8\)](#)
- [Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco MeetingPlace Web Conferencing とともに使用するための設定方法 \(P.3-9\)](#)
- [ロード バランシングと冗長性を目的とした複数の Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 サーバの設定について \(P.3-10\)](#)
- [ダイヤル グループの設定について \(P.3-10\)](#)
- [ダイヤル グループの設定方法 \(P.3-11\)](#)
- [Reservationless Single Number Access の設定について \(P.3-12\)](#)
- [MeetingPlace Audio Server System へのリバース接続の設定について \(P.3-12\)](#)

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定について

Release 5.2.1 をインストールした後は、次のいずれかのサーバとともに使用するための設定を行う必要があります。

- Cisco CallManager
- Cisco SIP Proxy Server
- (オプション) H.323 ゲートキーパー



(注) 標準の H.323 または SIP コール制御を実行する IP PBX を使用している場合、必要なシステム設定については P.3-4 の「Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定方法」を参照し、その設定方法については、ご使用の IP PBX のマニュアルを参照してください。

表 3-1 は、Release 5.2.1 Management Console の各フィールドについて説明し、それらのデフォルト設定を示しています。

表 3-1 Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 Management Console のフィールドとデフォルト設定





設定	説明	デフォルト
全般的な設定		
Max Number of Callers	Release 5.2.1 が受け入れる発信者の最大数。この最大数は H.323 と SIP の発信者の合計になる場合があります。	960
Outdial Protocol	IP ゲートウェイ サーバからのアウトダイヤルが H.323 と SIP のどちらを使用して発信されるかを制御します。  (注) H.323 と SIP が混在するコール制御環境では、アウトダイヤル用に 1 つのプロトコルを選択する必要があります。選択しない場合は、デフォルトのプロトコルが使用されます。	H.323
Verbose Logging	ロギング情報のレベルを設定します。	Normal
H.323 の設定		
Enabled	H.323 プロトコルを有効または無効にします。	Yes
Max Number of Callers	Release 5.2.1 が受け入れる H.323 発信者の最大数。	960
E.164 Address	IP ゲートウェイ サーバのダイヤル可能な番号。	—
H323 ID	Release 5.2.1 で使用される発信者 ID 名。	MeetingPlace
Gateway Address and Gateway Port	H.323 コールのルーティングを制御するサーバの IP アドレスとポート番号。H.323 ゲートキーパーが使用されていない場合、H.323 を使用するアウトダイヤルはこの IP アドレスとポートに誘導されます。  (注) ゲートキーパーを使用せずに H.323 を使用している場合は、このゲートウェイ情報を入力する必要があります。	アドレス : — ポート : 1720
Use Gatekeeper	IP ゲートウェイ サーバを H.323 ゲートキーパーに登録できるようにします。	No

表 3-1 Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 Management Console のフィールドとデフォルト設定 (続き)

設定	説明	デフォルト
Gatekeeper Address and Gatekeeper Port	<p>H.323 ゲートキーパーの IP アドレスとポート番号。H.323 ゲートキーパーが使用されている場合、Release 5.2.1 はサーバに登録され、H.323 アウトダイヤルをそのサーバに誘導します。</p> <p> (注) H.323 ゲートキーパーを使用する場合は、システムでトラフィックがポート 1024 ~ 65535 を通過できるようになっていることを確認してください。これは、MeetingPlace H.323/SIP IPGW ではダイナミック TCP および UDP トラフィックにこれらのポートが使用されるためです。</p>	<p>アドレス : —</p> <p>ポート : 1719</p>
SIP の設定		
Enabled	SIP プロトコルを有効または無効にします。	Yes
Max Number of Callers	Release 5.2.1 が受け入れる SIP 発信者の最大数。	960
Display Name	SIP メッセージに使用される IP ゲートウェイ サーバの表示名。	MeetingPlace
User Name	IP ゲートウェイ サーバのダイヤル可能な番号。	< 空白 >
Session Name	Session Description Protocol (SDP) のボディで使用されるセッション名。	MeetingPlace IP Call
Proxy Server Address and Proxy Server Port	<p>Cisco SIP Proxy Server の IP アドレスとポート番号。SIP を使用して発信された Cisco MeetingPlace システムのアウトダイヤルは、この IP アドレスとポートに誘導されます。</p> <p> (注) Cisco SIP Proxy Server を使用する場合は、システムでトラフィックがポート 1024 ~ 65535 を通過できるようになっていることを確認してください。これは、Release 5.2.1 ではダイナミック TCP および UDP トラフィックにこれらのポートが使用されるためです。</p>	<p>アドレス : —</p> <p>ポート : 5060</p>

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定方法

次のいずれかのサーバを使用してアウトダイヤルするように Release 5.2.1 を設定する必要があります。

- Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco CallManager とともに使用するための設定 (P.3-4)
- Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco SIP Proxy Server とともに使用するための設定 (P.3-5)
- (オプション) Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を H.323 ゲートキーパーとともに使用するための設定 (P.3-6)
- (オプション) MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定の確認 (P.3-7)



(注)

Release 5.2.1 では、同時に着信する H.323 コールと SIP コールを解決できますが、H.323 または SIP のどちらか一方のプロトコルを使用してアウトダイヤルするように Release 5.2.1 を設定する必要があります。

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco CallManager とともに使用するための設定

ステップ 1 IP ゲートウェイ サーバで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Management** を選択します。

ステップ 2 Cisco MeetingPlace IP Gateway アイコンをダブルクリックします。

Cisco MeetingPlace IP Gateway Management Console が開きます。

表 3-2 の設定値を使用して、Release 5.2.1 を Cisco CallManager とともに使用するように設定します。

表 3-2 Release 5.2.1 を Cisco CallManager とともに使用するための設定

フィールド名	設定
全般的な設定	
Outdial Protocol	H.323
H.323 の設定	
Enabled	Yes
E.164 Address	MeetingPlace H.323/SIP IPGW 用の番号を無効にすること
H.323 ID	MeetingPlace
Gateway Address	Cisco CallManager の IP アドレス
Gateway Port	1720
Use Gatekeeper	No

ステップ 3 設定を受け入れるには、**Submit** をクリックします。

ステップ 4 IP ゲートウェイ サーバを再起動します。

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco SIP Proxy Server とともに使用するための設定



(注) Release 5.2.1 は、SIP によるアウトオブバンド番号検出をサポートしません。

- ステップ 1** IP ゲートウェイ サーバで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Management** を選択します。
- ステップ 2** Cisco MeetingPlace IP Gateway アイコンをダブルクリックします。
- Cisco MeetingPlace IP Gateway Management Console が開きます。
- ステップ 3** 表 3-3 の設定値を使用して、Release 5.2.1 を Cisco SIP Proxy Server とともに使用するよう設定します。

表 3-3 Release 5.2.1 を Cisco SIP Proxy Server とともに使用するための設定

フィールド名	設定
全般的な設定	
Outdial Protocol	SIP
SIP の設定	
Enabled	Yes
Display Name	MeetingPlace
User Name	MeetingPlace H.323/SIP IPGW 用の番号を無効にすること
Session Name	MeetingPlace IP Call
Proxy Server Address	Cisco SIP Proxy Server の IP アドレス
Proxy Server Port	5060

- ステップ 4** 設定を受け入れるには、**Submit** をクリックします。
- ステップ 5** IP ゲートウェイ サーバを再起動します。

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を H.323 ゲートキーパーとともに使用するための設定



(注) Release 5.2.1 は、端末デバイスとしてゲートキーパーに登録されます。

- ステップ 1** IP ゲートウェイ サーバで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Management** を選択します。
- ステップ 2** Cisco MeetingPlace IP Gateway アイコンをダブルクリックします。
- Cisco MeetingPlace IP Gateway Management Console が開きます。
- ステップ 3** 表 3-4 の設定値を使用して、Release 5.2.1 を H.323 ゲートキーパーとともに使用するよう設定します。

表 3-4 Release 5.2.1 を H.323 ゲートキーパーとともに使用するための設定

フィールド名	設定
全般的な設定	
Outdial Protocol	H.323
H.323 の設定	
Enabled	Yes
E.164 Address	MeetingPlace H.323/SIP IPGW 用の番号を無効にすること
H.323 ID	MeetingPlace
Gateway Port	1720
Gatekeeper Address	H.323 ゲートキーパーの IP アドレス
Gatekeeper Port	1719
Use Gatekeeper	Yes

- ステップ 4** 設定を受け入れるには、**Submit** をクリックします。
- ステップ 5** IP ゲートウェイ サーバを再起動します。

MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 の設定の確認

ステップ 1 Release 5.2.1 のサービスが動作していることを確認するには、IP ゲートウェイ サーバで、**Start > Settings > Control Panel** を選択し、**Services** を選択します。

ステップ 2 次のサービスが動作していることを確認します。

- Cisco MeetingPlace GWSIM
- Cisco MeetingPlace IP Gateway

ステップ 3 IP ゲートウェイ サーバがログインしていることを確認するには、Cisco MeetingPlace Audio Server システムに Telnet 接続します。

ステップ 4 IP ゲートウェイ サーバのステータスが OK になっていることを確認するには、**gwstatus** と入力します。



(注) **gwstatus** のアップデートには最大 5 分かかるため、ゲートウェイに対する最新の変更内容が反映されない場合があります。

ステップ 5 Cisco IP Phone を使用して Cisco MeetingPlace Audio Server システムにアクセスできることを確認します。

ステップ 6 PSTN 電話機を使用して Cisco MeetingPlace Audio Server システムにアクセスできることを確認します。

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco MeetingPlace Web Conferencing とともに使用するための設定について

Release 5.2.1 は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing と同じサーバにインストールすることも、異なるサーバにインストールすることもできます。Release 5.2.1 と Cisco MeetingPlace Web Conferencing を同じサーバにインストールする場合は、プライマリ IP アドレスとセカンダリ IP アドレスを持つようにサーバを設定する必要があります。Release 5.2.1 がプライマリ アドレスを使用するので、Cisco MeetingPlace Web Conferencing はセカンダリ アドレスを使用するように設定する必要があります。複数の IP アドレスを持つサーバに Release 5.2.1 がインストールされている場合は、アウトダイヤルが機能するように、Cisco CallManager、Cisco SIP Proxy Server、または H.323 ゲートキーパーのいずれかで各 IP アドレスにゲートウェイを定義する必要があります。



(注)

同じサーバに複数の Cisco MeetingPlace システム統合アプリケーションをインストールする前に、システムが統合の要件を満たしていることを確認してください。詳細については、『*Important Information About Cisco MeetingPlace Products and Cisco Media Convergence Servers*』(<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/mpmcs.htm>) を参照してください。

Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 を Cisco MeetingPlace Web Conferencing とともに使用するための設定方法

Release 5.2.1 を Cisco MeetingPlace Web Conferencing とともに使用するようには、次の手順を実行します。

プライマリ IP アドレスの割り当て

- ステップ 1 IP ゲートウェイ サーバのデスクトップから、**Network Neighborhood** を右クリックし、**Properties** を選択します。
- ステップ 2 **Protocols** タブで、**TCP/IP Protocol** をクリックし、**Properties** をクリックします。
- ステップ 3 **TCP/IP Properties** ウィンドウで、**IP Address** タブを選択します。
- ステップ 4 システムの情報を表 3-5 の対応するフィールドに入力します。

表 3-5 IP Address タブのフィールド

フィールド	作業
Adapter	MeetingPlace IP Gateway とネットワークとの通信を可能にするアダプタを選択します。
Radio buttons	Specify an IP address を選択します。
IP Address	IP ゲートウェイ サーバのプライマリ アドレスを入力します。
Subnet Mask	IP ゲートウェイ サーバのサブネット マスクを入力します。
Default Gateway	IP ゲートウェイ サーバのデフォルト ゲートウェイを入力します。

- ステップ 5 **OK** をクリックして設定値を適用し、デスクトップに戻ります。

ロードバランシングと冗長性を目的とした複数の Cisco MeetingPlace H.323/SIP IP Gateway Software Release 5.2.1 サーバの設定について

複数の IP ゲートウェイ サーバを導入して IP コールをルーティングしている場合は、Cisco CallManager または IP PBX を設定して、ロードバランシングを行ったり、ルートグループを作成して Cisco MeetingPlace システムに冗長性を提供することができます。ルートグループは、ゲートウェイに障害が発生した場合にコールを他の IP ゲートウェイ サーバに送信します。ルートグループを使用すると、IP ゲートウェイ サーバを選択する順序を指定し、発信トランク選択用の IP ゲートウェイとポートのリストに優先順位を付けることができます。

すべての IP ゲートウェイ サーバがアクティブにコールを処理し、コールは IP ゲートウェイ サーバ間をラウンドロビンでルーティングされます。したがって、障害のあった IP ゲートウェイ サーバに接続されているセッション中のコールは接続解除され、そのようなコールは再度コールして Cisco MeetingPlace Audio Server システムに再接続する必要があります。ただし、新しい発信者は別の IP ゲートウェイ サーバにルーティングされます。

ルートグループの設定については、ご使用のソフトウェア リリースに対応する『Cisco CallManager System Guide』の「Redundancy」の章を、次の URL で参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_callmg/index.htm

ダイヤルグループの設定について

ダイヤルグループでは、Cisco MeetingPlace Audio Server システムをカスタマイズし、特定の IP 電話番号で会議にダイヤルインする発信者に対して特定の音声プロンプトを提供します。たとえば、内線 2121 をダイヤルした発信者を即座に会議 ID 656565 に転送するようにダイヤルグループを設定することができます。

ダイヤルグループは、dialgroups.txt ファイルを編集してダイヤルパターンを入れることによって設定します。このダイヤルパターンによって、特定のダイヤルグループ、ダイヤルグループの発信者に対して再生するアプリケーションまたはプロンプト、および、Cisco MeetingPlace Audio Server システムに対して提示する会議番号が関連付けられます。dialgroups.txt のエントリは、上から下の順に処理されます。一致するパターンが見つからない場合、発信者に CombinedAccess メニューが表示され、ダイヤルされた番号が Cisco MeetingPlace Audio Server システムに提示されます。

ダイヤル グループの設定方法

-
- ステップ 1** IP ゲートウェイ サーバで、Cisco MeetingPlace IP Gateway フォルダを開きます。
- ステップ 2** テキスト エディタを使用して、dialgroups.txt ファイルを開きます。
- ステップ 3** # 記号で始まるコメント行を読みます。
- ステップ 4** カスタマイズするダイヤル パターンを入力し、続いてスペースを入力します。有効な選択肢は次のとおりです。
- [0-9] [A-D] : MeetingPlace Audio Server にその番号を提示します。
 - [.] : 任意の有効な番号に一致します。
 - [*] : 前の番号の 0 回以上の出現に一致します。
- ステップ 5** 発信者に対して再生するプロンプト メニューのタイプを入力し、続いてスペースを入力します。有効な選択肢は次のとおりです。
- CombinedAccess : Main メニューを選択します。
 - DIDMeeting : 参加する会議 ID を入力するよう発信者に求めます。このオプションは、その番号が Cisco MeetingPlace Audio Server システムの既存の会議 ID に一致する場合に、発信者を会議に直接転送するために使用できます。
 - Profile : プロファイル番号を入力するよう発信者に求めます。
 - MeetingNotes : 会議メモを取得するよう発信者に求めます。
- ステップ 6** Cisco MeetingPlace Audio Server システムに提示する番号を入力します。有効な選択肢は次のとおりです。
- [0-9] [A-D] : 入力する番号を Cisco MeetingPlace Audio Server システムに提示します。
 - KEEP : ダイヤルされた番号を保持します。
 - NONE : サーバに番号を提示しません。
- ステップ 7** ステップ 4 ～ステップ 6 を繰り返し、設定対象のダイヤル グループごとに 1 行をファイルに格納していきます。
- ステップ 8** dialgroups.txt ファイルを保存して閉じます。
- ステップ 9** IP ゲートウェイ サーバを再起動します。
-

ダイヤル グループの設定例

dialgroups.txt ファイルのサンプルを次に示します。このサンプルでは、内線 2121 をダイヤルする発信者は会議 ID 656565 に転送されます。その他の有効な番号をダイヤルする発信者はプロファイル番号を入力するよう求められ、入力した番号が Cisco MeetingPlace Audio Server システムに転送されます。

```
2121 DIDMeeting 656565
.* Profile KEEP
```

Reservationless Single Number Access の設定について

プロフィールを持つユーザは、プロフィール ユーザやゲストとして予約不要の会議を開催したり、その会議に参加したりする場合、Reservationless Single Number Access (RSNA) 使用すると、どの Cisco MeetingPlace Audio Server システムで会議が開催されるかに関係なく、同じ電話番号をダイヤルして会議にアクセスすることができます。RSNA では、ユーザは常にホーム サーバの番号をダイヤルし、ホーム サーバがそのコールをスケジュール担当者または主催のホーム サーバに転送します。

Reservationless Single Number Access の設定については、次の URL で『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/ipgw/ip521/ipgw521/index.htm>



(注)

Reservationless Single Number Access 機能を使用するには、ゲートウェイで Session Initiation Protocol (SIP) Refer Method (RFC 3515) をサポートする必要があります。

MeetingPlace Audio Server System へのリバース接続の設定について

Cisco MeetingPlace Audio Server システムでは、Cisco MeetingPlace Audio Server システムで着信ポート 5003 を開く必要がないように、リバース接続を開始することができます。リバース接続を開始するには、IP ゲートウェイ サーバでポート 5003 を開く必要があります。